



バックアップと復元

いつでもすぐにバックアップを実行できます。すべてのファブリック設定とインテントを自動または手動でバックアップするようにスケジューラを設定することもできます。インテントである設定を Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ に保存できます。インテントは、スイッチにプッシュされる場合とされない場合があります。

テーブルには、Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ で復元されたすべてのバックアップとアップグレードが表示されます。テーブルのエントリを更新するには、更新アイコンをクリックします。

このセクションの内容は次のとおりです。



(注) スケジュールされたバックアップ ジョブがない場合は、[スケジュールが設定されていません (No Schedule set)] が表示されます。

- [スケジューラ \(1 ページ\)](#)
- [Restore \(復元\) \(2 ページ\)](#)
- [今すぐバックアップ \(3 ページ\)](#)

スケジューラ

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からアプリケーションおよび構成データを復元するには、次の手順を実行します。

始める前に

スケジュールされたバックアップ ジョブがない場合は、[スケジュール設定なし (No Schedule set)] が表示されます。

手順

ステップ 1 [スケジュール設定なし (No Schedule set)] をクリックします。

[Scheduler (スケジューラ)] ウィンドウが表示されます。

- ステップ 2 [スケジュールされたバックアップの有効化 (Enable Scheduled backups)] チェックボックスをオンにします。
- ステップ 3 [タイプ (Type)] で、復元する形式を選択します。
- [構成のみ (Config only)] を選択して、構成データのバックアップを作成します。
 - 以前のすべてのバージョンのデータをこのアプリケーションにバックアップするには、[完全 (Full)] を選択します。
- ステップ 4 [SCP サーバ (SCP Server)] フィールドに、SCP サーバの IP アドレスを入力します。
- ステップ 5 [ファイルパス (File Path)] フィールドに、バックアップ ファイルを保存するディレクトリの絶対パスを入力します。
- ステップ 6 バックアップ ディレクトリにユーザー名とパスワードを入力します。
- ステップ 7 バックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。
- ステップ 8 [日単位で実行 (Run on days)] フィールドで、チェックボックスをオンにして、1 日以上のバックアップ ジョブをスケジュールします。
- ステップ 9 [開始時刻 (Start at)] フィールドで、タイムピッカーを使用して特定の時刻にバックアップをスケジュールします。
- タイムピッカーは 12 時間制です。
- ステップ 10 [バックアップのスケジュール (Schedule backup)] をクリックして、スケジュールに従ってバックアップ ジョブを実行します。
-

Restore (復元)

Cisco Nexus ダッシュボード ファブリック コントローラ Web UI からアプリケーションおよび構成データを復元するには、次の手順を実行します。

手順

- ステップ 1 [復元 (Restore)] をクリックします。
- [今すぐ復元 (Restore now)] ウィンドウが表示されます。
- ステップ 2 [種類 (Type)] で、復元する形式を選択します。
- 構成データのみを復元するには、[構成のみ (Config only)] を選択します。
 - このアプリケーションに以前のバージョンのデータをすべて復元するには、[完全 (Full)] を選択します。

ステップ3 バックアップ ファイルを保存した適切な宛先を選択します。

- ファイルがローカル ディレクトリに保存されている場合は、[**ファイルのアップロード (Upload File)**] を選択します。
 1. バックアップ ファイルが保存されるディレクトリ
 2. バックアップ ファイルを [今すぐ復元 (Restore now)] ウィンドウにドラッグアンドドロップします。

または

[Browse] をクリックします。バックアップ ファイルが保存されるディレクトリに移動します。バックアップ ファイルを選択して、[開く (Open)] をクリックします。
 3. バックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。
- バックアップ ファイルがリモート ディレクトリに保存されている場合は、[**SCP からインポート**] を選択します。
 1. [SCPサーバ (SCP Server)] フィールドに、SCP サーバの IP アドレスを入力します。
 2. [ファイルパス (File Path)] フィールドに、バックアップ ファイルへの相対ファイルパスを入力します。
 3. ユーザ名とパスワードを該当するフィールドに入力します。
 4. [暗号キー (Encryption Key)] フィールドにバックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。

ステップ4 [復元 (Restore)] をクリックします。

バックアップ ファイルが [バックアップと復元 (Backup & Restore)] ウィンドウの表に表示されます。復元に必要な時間は、バックアップ ファイルのデータによって異なります。

今すぐバックアップ

Cisco Nexusダッシュボードファブリック コントローラ Web UI からアプリケーションおよび設定データのバックアップを取得するには、次の手順を実行します。

手順

ステップ1 [今すぐバックアップ (**Backup Now**)] をクリックします。

ステップ2 [タイプ (**Type**)] で、復元する形式を選択します。

- [構成のみ (**Config only**)] を選択して、構成データのバックアップを作成します。

- 以前のすべてのバージョンのデータをこのアプリケーションにバックアップするには、[完全 (Full)] を選択します。

ステップ3 バックアップ ファイルを保存する適切な宛先を選択します。

- ローカル ディレクトリにバックアップを保存するには、[ローカル ダウンロード (Local Download)] を選択します。
 1. バックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。
 2. [バックアップ (Backup)] をクリックします。

バックアップが完了すると、[バックアップと復元 (Backup & Restore)] 画面からバックアップ ファイルをダウンロードできます。
 3. [アクション (Actions)] 列で、[ダウンロード (Download)] アイコンをクリックして、バックアップをローカル ディレクトリに保存できます。

バックアップを削除するには、[削除 (Delete)] アイコンをクリックします。
 - [SCP へのエクスポート (Export to SCP)] を選択して、バックアップ ファイルをリモート ディレクトリに保存します。
 1. [SCPサーバ (SCP Server)] フィールドに、SCP サーバの IP アドレスを入力します。
 2. [ファイルパス (File Path)] フィールドに、バックアップファイルへの相対ファイルパスを入力します。
 3. ユーザ名とパスワードを該当するフィールドに入力します。
 4. [暗号キー (Encryption Key)] フィールドにバックアップ ファイルに対する暗号キーを入力します。
 5. [バックアップ (Backup)] をクリックします。

バックアップが完了すると、バックアップファイルがリモート ディレクトリに保存されます。
-